



さんぽみち 7

E-mail hamashigou-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

三国町下野58-16

TEL/FAX 0776-81-3001

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う コミュニティセンターの利用について

6月1日より新型コロナウイルス感染拡大防止対策「新しい生活様式」「県民行動指針」を実践しながら利用制限を設け開館しています。6月15日からは利用制限が一部解除となりましたのでお知らせいたします。詳細は裏面をご確認ください。



鳥獣害駆除のお知らせ

農作物の被害拡大を防ぐため、猟銃を使ってカラスなどを捕獲します。当日は午前7時までの農作業や散歩を控えるなど事故防止にご協力ください。



日時

2回目：7月5日(日) 午前5時～7時
3回目：7月11日(土) //

～健康コラム～

こしの医院 越野 雄祐 医師



この原稿を書いている時点(6月16日)で、福井県ではついに新型コロナウイルス感染症による入院患者は0となり、感染確認も48日間0になっています。見かけ上、県内には新型コロナウイルス感染者はいなくなったと言えます。まあ今後、県境をまたいでの移動自粛が解除されたりすれば、再び感染者が出てくることも予想されます。皆さん油断しないようにしてください。

さて、本日はコロナウイルス感染症の検査についてお話したいと思います。新型コロナウイルス感染症の検査と言えばあまりにも有名になったPCR検査がありますが、この検査はどこでもお手軽に、というわけにはいきません。検査を実施する医療者側の感染予防策が必要になります。一方最近マスコミなどでよく報道されるようになった検査に抗体検査と抗原検査というのがあります。抗体検査は血液検査なので医療者側の感染リスクはかなり下がります。抗体というのは感染したウイルスに対して人間の体内で起こる免疫反応の結果産生されるタンパクの1種です。この抗体が検出されれば感染していることを証明できるということになりますが、残念ながら早期診断には向いていません。主に2種類の抗体が産生されますが、ひとつは割と感染早期に検出されます。といっても数日かかるのですぐに診断というわけにはいきません。またもうひとつは2週間後くらいに検出されてきますのでまったく早期診断には役に立ちません。感染したことがあるかどうかなどを調べて集団の中でどれくらいの感染者がいたかなどを調べる疫学調査に用いられます。

抗原検査はウイルスそのものの一部を検出する検査ですので、陽性であれば早期診断が可能です。2020年5月13日に、新型コロナウイルスの抗原検査が保険適用され、使用できるようになりました。この抗原検査キットは、鼻咽頭ぬぐい液の採取は必要とされ、実施者側の感染防御策もPCR検査並みに必要となるものの、診療現場で30分程度の時間で簡便にできるという特徴があります。冬にインフルエンザ疑いの時に鼻に綿棒突っ込むあれと同じような感じです。大型の機械や検体の搬送等が必要なく、特にPCR検査体制が十分に確立していない医療機関等において有効となる可能性があります。一方で、PCR検査に比べるとウイルス量が多くないと検出できないという特徴があり、偽陰性(本当は陽性なのに陰性と出てしまう)の割合がPCR検査に比べて高いと言われております。現段階では抗原検査で陰性の場合PCR検査を追加して実施するというようになってきているようです。まだ一般の診療所で検査できる体制にはなっていませんのでご注意ください。抗体検査にしろ、抗原検査にしろまだ完全に確立された検査法ではないので、今後まだまだ研究、改良が必要でしょう。当分はPCR検査に頼ることになりそうです。

ひとときの
幸せ♡

お帰りなさい!!

今年も浜四郷地区の田んぼにペアのコウノトリが♡
空には虹色の雲・あぜ道には
四つ葉のクローバーがいっぱい♡

一日も早くコロナウイルスが収束しますように。



